

2025年度JICA青年研修事業「環境管理(都市環境管理)B」研修員名簿概要

人数	国	性別	年齢	所属	目標	研修で希望すること
1	ガーナ	男性	34	サナリグ市議会（地方自治・首長・宗教問題省）、環境衛生・衛生ユニット、環境衛生分析官	・ 研修で得た知識を活かし、環境保護と公衆衛生の向上を目指す。 ・ 同僚への知識共有や地域への情報発信を行い、組織内で環境衛生問題の解決策を検討する。 ・ 環境管理の推進に向けた提案を作成する。	・ 関心のある分野は、衛生管理を持続可能な都市開発に統合する方法。都市の成長と環境保護を両立させるために、衛生を都市計画の一部として位置づけることに注目している。
2		女性	31	コール・クロッティ市議会（地方自治・首長・宗教問題省）、環境衛生ユニット、上級環境衛生補佐官	・ 自治体の廃棄物管理と市民教育に関する知識と専門性を習得したい。 ・ 根拠に基づく廃棄物管理の知識を深め、都市の衛生基準の向上を目指している。	・ 自治体の廃棄物管理、苦情対応、衛生規制に関するベストプラクティスを深く学び、戦略的な計画や関係者との連携に活かしたいと考えている。
3	コンゴ	男性	35	2025- 環境・空間計画・インフラ省地域川流域管理局、川流域および資源管理部門、イバル川流域の上級職員	・ 水資源管理、汚染防止、気候回復力に重点を置き、持続可能な環境管理の知識とスキルを強化する。 ・ 革新的手法を学び、国家・地域の環境戦略に貢献し、資源利用や関係機関の連携を改善することを目指す。	・ 廃棄物管理や汚染防止、環境保護の実施に関する専門性を高めたい。 ・ 研修を通じて、実践的なツールや革新的な手法を学び、プロジェクト計画や機関間の連携を強化し、課題に対する効果的な解決策を導きたい。
4	モーリシャス	女性	34	環境省、環境局、上級環境担当官（廃棄物管理・気候変動担当）	・ 循環型経済と持続可能な開発への転換を目指す。 ・ 宇宙市の技術革新や環境保全のベストプラクティスを導入し、学校でのゲームや活動を通じた啓発を推進する。 ・ 産官学民の連携による環境管理体制の強化を図る。	・ 現在、環境省の情報教育部門で啓発活動に従事している。モーリシャスでは、プラスチック廃棄物のリサイクル率は低く、大半が埋立処分されている。使い捨てプラスチック削減に20年間取り組んでおり、環境教育や海洋プラスチック問題に強い関心がある。
5	メキシコ	女性	31	2023- チワワ州、都市開発・生態省 都市・地域計画部、テクニカルアドバイザー	・ 環境革新や持続可能な都市管理の技術リーダーになることを目指している。 ・ 学んだ知識を活かし、持続可能なモビリティや在来植物を活用した公共空間、都市再生、地域主導のまちづくりなどの実証プロジェクトを展開予定。また、大学で教鞭をとり、即興的でないデータに基づく都市管理を広めたい。	・ 研修を通じて、持続可能な都市計画や環境管理の知識を深め、地域に即した実践的な解決策を導入することを期待している。 ・ 市民参加型のプロジェクトや政策を推進し、チワワ市の環境課題に積極的に取り組む所存である。
6	南アフリカ共和国	女性	31	公共事業省、都市計画サービス部、副部長	・ 研修で得た知識と技術を活かし、組織内の環境管理を強化する。 ・ 法令遵守と環境負荷の軽減を図り、国際的なベストプラクティスを導入する。 ・ インフラ開発と環境保護の両立を目指し、若手育成や持続可能な文化の定着にも取り組む。	・ 環境に配慮した都市計画の実践的戦略を学び、保全協定や廃棄物管理、焼却技術などの知識を深めたい。 ・ 環境問題の解決やプロジェクト効率化に役立つ革新的手法も探求し、得たスキルをキャリアや持続可能なインフラ開発に活かしたいと考えている。
7	南スーダン	女性	30	ミュヌキ地区評議会/環境・衛生、環境・衛生部門、環境担当官	・ 学校や地域機関に環境クラブを設立すること ・ ペットボトル等の廃棄物に対応するリサイクル団体を形成し、生活向上を図ること ・ 環境法を地域に即した広範な文脈で再構築すること	・ 学校での環境教育の推進 ・ 地球温暖化への対応 ・ 廃棄物政策と環境保全センターの活用
8		男性	33	ミュヌキ地区評議会/ジュバ市議会、環境・衛生部門、行政官	・ 地域資源回収センターの設立 ・ 日本の地方自治体と民間企業の協力による持続可能な社会づくりの応用 ・ 焼却方式と排出基準に関する知識の活用	・ 本研修の内容のうち、都市計画と防災に強く感銘を受けており、これらはジュバ市にとって新しい概念であると感じている。
9	ウクライナ	女性	34	ハルキウ国立大学、環境科学研究所、准教授	・ 日本の都市環境管理の知識を教育と研究に活かし、戦後復興に向けた都市の持続可能な管理戦略を構築する。 ・ 学生や若手研究者に知見を共有し、環境紛争の調整や都市計画への貢献を目指す。	・ 廃棄物処理や緑地管理の先進技術、日本の都市計画手法に関心がある。 ・ 戦争で被災したウクライナの都市再建に活用し、学んだ知識を学生や若手研究者に共有して環境都市分野の人材育成につなげたい。

2025年度JICA青年研修事業「環境管理（都市環境管理）B」7カ国混成（ガーナ、コソボ、モーリシャス、メキシコ、南アフリカ、南スーダン、ウクライナ）
スケジュール概要

日付	時間	テーマ	目的	研修対応	研修場所
		来日～JICAブリーフィング		JICA中国、研修監理員（CDN）	宇部環境国際協力協会 事務所
11/27(木)	16:00 ～ 17:00	プログラムオリエンテーション	研修開始にあたり、本研修の目的、到達目標を確認、研修全体の内容、進め方を把握する。	宇部環境国際協力協会	宇部環境国際協力協会 事務所
11/28(金)	9:00 ～ 9:30	市長表敬訪問		宇部市市民環境部環境政策課	宇部市役所 本庁舎市民交流棟 2階 会議室D,E
	9:40 ～ 10:20	開講式		JICA中国、CDN、宇部市環境政策課、宇部環境国際協力協会、山口大学名誉教授	
	10:30 ～ 11:30	環境に配慮した「新庁舎」の概要や環境への取組など	環境に配慮した新庁舎について学ぶ	宇部市新庁舎建設課	宇部市役所 本庁舎市民交流棟
	13:30 ～ 16:00	Job report発表、質疑応答（発表は通訳込み15分/各国×7カ国）	研修員が抱えている環境問題を紹介し、研修に期待する抱負などを発表	JICA中国、CDN、宇部市環境政策課、宇部環境国際協力協会、山口大学名誉教授	宇部市役所 本庁舎市民交流棟 2階 会議室D,E
11/29(土)	7:40 ～ 19:40	広島平和記念公園・広島平和記念資料館 広島市環境局施設部 中工場（ごみ焼却場） 自然環境保護される宮島と世界遺産厳島神社	平和学習と持続可能な観光地域づくりを学ぶ、また市民との国際理解の場とする	宇部環境国際協力協会、ボランティア	広島平和記念公園・資料館、中工場、宮島
11/30(日)		休日			
12/1(月)	9:00 ～ 10:30	宇部市の環境保全行政と「宇部方式」の歴史	産官学民の協働で成し遂げた「宇部方式」による公害対策の歴史、「宇部方式」を基調とした環境保全行政全般への取り組みを学ぶ	宇部市市民環境部環境政策課	宇部市役所 4階第3会議室
	10:30 ～ 12:00	宇部市の地球温暖化対策と環境教育		宇部市市民環境部環境政策課	
	12:00 ～ 12:10	宇部市市民役所本庁と総合窓口の紹介	市民が利用するフレストップ窓口及びリサイクル品回収ボックスの設置を見学	宇部市市民環境部環境政策課、市民課	宇部環境国際協力協会 事務所
	14:00 ～ 15:00	小学校の環境教育と家庭でのごみ分別事例	小学校での環境教育について学ぶ	元小学校教員	
	15:10 ～ 17:00	市民による小学校児童へのごみ分別教育活動・分別ゲーム	地元NPO団体の活動及び行政機関との連携・協働による環境教育について学ぶ	宇部市地球温暖化対策ネットワーク事務局	
12/2(火)	9:00 ～ 12:00	宇部市の廃棄物政策・災害廃棄物について、環境保全センター、最終処分場の説明 昼食（フジグラン）	宇部市の分別・収集・処理・処分、リサイクル、各施設役割、災害廃棄物処理、市民の協力について学ぶ	廃棄物対策課係長、環境保全センター施設課	宇部市環境保全センター
	14:00 ～ 14:30	東見初最終処分場視察		環境保全センター施設課	宇部市東見初最終処分場
	15:00 ～ 16:00	焼却場・リサイクルセンター視察、Q&A		環境保全センター施設課	
	16:00 ～ 17:00	段ボールコンポストの説明、実習	家庭向け段ボールコンポストについて学ぶ	廃棄物対策課係長	宇部市環境保全センター
12/3(水)	9:00 ～ 9:30	新町資源ごみ拠点回収施設	宇部市が管轄する資源ごみ回収拠点、自治体のゴミステーションを見学する。またコミュニティセンターでの防災備蓄を見学する	廃棄物対策課係長	新町 資源ごみ拠点回収施設
	9:40 ～ 10:10	自治会のごみコンテナステーション、（鶴の島）ふれあいセンターの防災品視察		廃棄物対策課係長	鶴の島ふれあいセンター
	10:30 ～ 12:00	宇部市の環境保全協定に基づく企業の役割と責任、環境監視について	企業の役割と責任、環境監視による環境汚染の未然防止について学ぶ	宇部地区環境保全協議会	UBE御本社
	14:00 ～ 15:30	緑と花と彫刻のまちづくり	宇部市の環境に配慮した都市計画の概要について	公園緑地課、文化振興課	宇部環境国際協力協会 事務所
	15:30 ～ 17:00	宇部市の防災と備蓄、避難所等について	地域防災に関してハザードマップ、緊急避難通報の仕組み、避難所の開設と運営等について学ぶ	防災危機管理課、地域福祉課	
12/4(木)	9:00 ～ 11:30	せかい！動物かんきょう会議 宇部メソッド-1	子どもたちが動物の立場になって人間との共生や環境問題を考える手法を体験学習を交えて学ぶ	㈱ヌールエ デザイン総合研究所	宇部市役所 本庁舎市民交流棟 2階 会議室A,B
	13:30 ～ 17:00	せかい！動物かんきょう会議 宇部メソッド-2		㈱ヌールエ デザイン総合研究所	
12/5(金)	9:00 ～ 10:50	持続可能な発展のための環境保全の課題について zoom遠隔講義 離島における海洋プラスチックごみの焼却処理	地球環境問題について包括的に学ぶ 離島や僻地に選んだごみ小型焼却炉を開発した専門企業が事例を紹介	山口大学名誉教授 (株)トマス技術研究所	宇部環境国際協力協会 事務所
	11:00 ～ 12:00	zoom遠隔講義 災害廃棄物の処理について	国の災害廃棄物処理について学ぶ	環境省中国四国地方環境事務所	
	13:30 ～ 15:00	zoom遠隔講義 海洋プラスチックの問題点と対応について	海洋プラスチック問題について学ぶ	山口大学大学院理工学研究科教授	
	15:10 ～ 17:00				
12/6(土)	9:00 ～ 11:00	常盤公園の紹介（石炭記念館、植物園）	自然・環境の学び場をつくることへの取組を学ぶ	宇部観光コンベンション協会 副会長・理事	常盤公園・ときわミュージアム世界を旅する植物館、ときわ動物園
	11:00 ～ 13:00	常盤公園「動物園」、自由見学	市民向け環境教育拠点の理解と見学	ときわ動物園協会 宇部環境国際協力協会	
12/7(日)		休日			
12/8(月)	10:00 ～ 12:00	サステナブルデザイン/ 持続可能な社会設計	持続可能な社会設計について学ぶ	(株)オープンハウス 代表	アクトビレッジおの 研修室
	12:00 ～ 13:00	昼食（アクトビレッジおの 研修室） ケータリング			
	13:30 ～ 15:00	プラスチック類の回収と再ペレット化工場	容器包装プラスチックの再ペレット化として再生する事業について学ぶ	(株)広島企業 宇部テクノリサイクルセンター 課長、副工場長	(株)広島企業 宇部テクノリサイクルセンター
	15:15 ～ 16:45	食品廃棄物の飼料化、廃食油の燃料化ほか工場	食品廃棄物を家畜の飼料として再利用する事業他を学ぶ	㈱アースクリエティブ 専務取締役	
12/9(火)	9:30 ～ 11:30	北九州エコタウン（9：30～11：30）概要説明、蛍光管のリサイクル、風力発電 小倉城（周辺で昼食）	北九州エコタウンの概要について学び、蛍光管リサイクル、風力発電について視察する	北九州エコタウン	北九州エコタウン
	14:30 ～ 16:00	市民のための環境学習・交流総合拠点	市民向け環境学習や環境活動の拠点について学ぶ	たかみや環境ミュージアム	たかみや 環境ミュージアム
12/10(水)	9:00 ～ 12:00	研修総括ディスカッション グループディスカッション&グループプログラムレポート作成	ディスカッションを行い、研修を通じて見出した課題の把握を行い、情報の共有をする。	宇部市環境政策課、廃棄物対策課、山口大学名誉教授	宇部環境国際協力協会 事務所
	14:00 ～ 17:00	グループディスカッション&グループプログラムレポート作成 個人プログラムレポート作成&クエスチョネア回答	プログラムレポート作成	CDN、宇部環境国際協力協会	
12/11(木)	13:00 ～ 15:30	プログラムレポート発表会（発表は通訳込み15分/各国×7カ国）	研修で学んだことを自国でどのように活かすかアクションプランとして発表する	JICA中国、CDN、宇部市環境政策課、宇部環境国際協力協会、山口大学名誉教授	宇部市役所 本庁舎市民交流棟 2階 会議室D,E
	15:40 ～ 16:10	評価会		JICA中国	
	16:15 ～ 17:00	閉講式		JICA中国、宇部市環境政策課、宇部環境国際協力協会	
	18:00 ～ 19:30	閉講レセプション		JICA中国、宇部環境国際協力協会	国際ホテル宇部 西館2階 翡翠
12/12(金)	～	チェックアウト 帰国 （山口宇部空港発～羽田空港着）			